

## 株主メモ

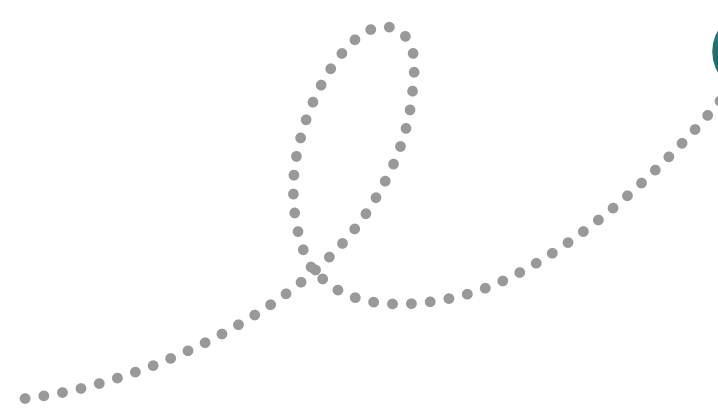
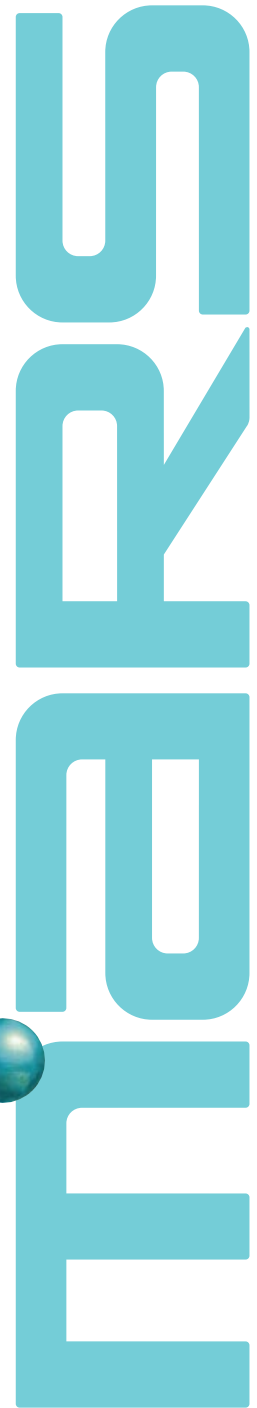
決算期	3月31日
利益配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	6月
1単元の株式の数	100株
利益配当金	毎決算期現在の株主名簿に記載された株主又は登録質権者に対し、お支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により、中間配当を実施する場合、毎年9月30日現在の株主名簿に記載された株主又は登録質権者に対し、お支払いいたします。
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
同取次所 公告の方法	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本経済新聞に掲載します。ただし、商法特 例法第16条第3項に定める貸借対照表および 損益計算書に係る情報は <a href="http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html">http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html</a> において提供します。
上場証券取引所	東京証券取引所

## 第28期 事業報告書

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで



株式会社 マースエンジニアリング  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-7  
TEL. 03-3352-8555 (代)  
URL : <http://www.mars-eng.co.jp>



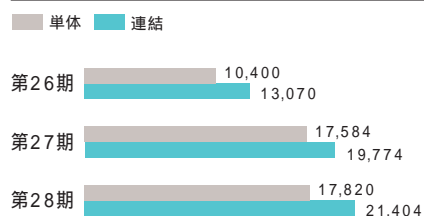
# Financial Highlights

## 財務ハイライト

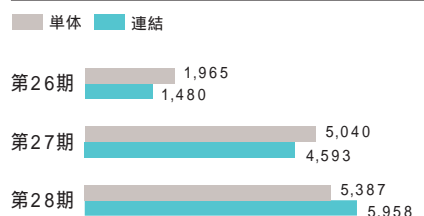
単体		第26期	第27期	第28期
		(平成12年3月期)	(平成13年3月期)	(平成14年3月期)
売上高	(百万円)	10,400	17,584	17,820
経常利益	(百万円)	1,965	5,040	5,387
当期利益	(百万円)	1,505	2,242	2,432
資本金	(百万円)	7,934	7,934	7,934
純資産額	(百万円)	23,530	24,852	26,951
総資産額	(百万円)	30,026	32,385	33,697
自己資本比率	(%)	78.4	76.7	80.0
1株当たり純資産額	(円)	2,071.38	2,187.76	2,372.51
1株当たり配当額	(円)	30	50	50
1株当たり当期利益	(円)	143.60	197.40	214.11

連結		第26期	第27期	第28期
		(平成12年3月期)	(平成13年3月期)	(平成14年3月期)
売上高	(百万円)	13,070	19,774	21,404
経常利益	(百万円)	1,480	4,593	5,958
当期利益	(百万円)	1,211	1,810	3,030
資本金	(百万円)	7,934	7,934	7,934
純資産額	(百万円)	22,872	23,752	26,446
総資産額	(百万円)	31,689	35,498	39,879
自己資本比率	(%)	72.2	66.9	66.3
1株当たり純資産額	(円)	2,013.45	2,090.91	2,328.08
1株当たり配当額	(円)	30	50	50
1株当たり当期利益	(円)	115.51	159.39	266.78

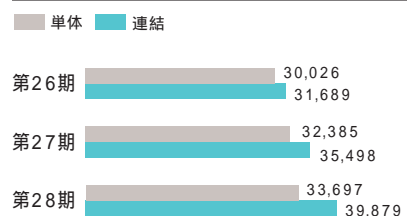
売上高 (単位:百万円)



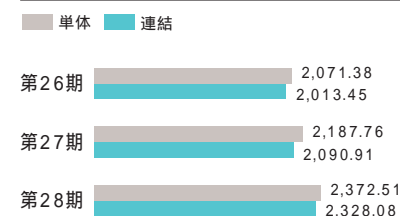
経常利益 (単位:百万円)



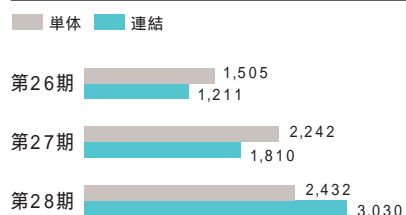
総資産 (単位:百万円)



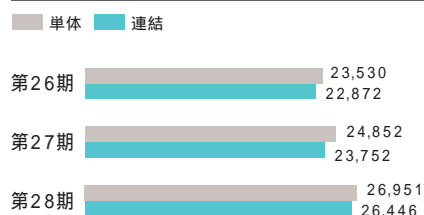
1株当たり純資産 (単位:円)



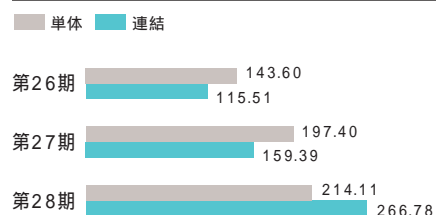
当期利益 (単位:百万円)



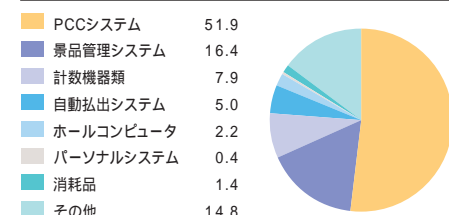
純資産 (単位:百万円)



1株当たり当期利益 (単位:円)



売上構成比 (単位:%)



株主の皆様には、いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。当社は、昨年9月に東京証券取引所市場第一部への指定替えを果たしました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と感謝いたしております。

当期（第28期）は、失業率の上昇や消費低迷など厳しい状態が続く経済環境の下、当社の主要顧客であるパチンコ業界も市場規模推計額が20兆円を割り込むなど低迷を余儀なくされたものの、設置遊技台総数では約3万台の増加となっております。厳しい環境

下にありながら、株式公開を目指す大手ホール企業を中心に店舗の大型化、チェーン店化などの経営の効率化や、顧客ニーズに応えたパチスロ併設台数の増加が加速されました。当社は、これまで景品管理システムのトップメーカーとして、当業界の経営合理化・健全化に大きく寄与してまいりました。さらに前々期から自信を持って本格販売を始動させた業界初のリサイクル型のプリペイドカード（サイクルカードシステム）は、店舗運営の効率化と顧客の利便性向上、更にホール運営の営業戦略ツールとしても効果を発揮し、先進のシ

ステム技術は高く評価を受けています。この結果、当期の連結業績は、売上高が210億を超え、2期連続で最高を記録する増収増益となりました。

新製品開発につきましては、一昨年導入しました非接触ICカード化技術によりプリペイドカードのIC化を実現、利便性とシステムの拡張性を高めた「サイクルICカードシステム」と、ICコインを採用した中規模店の経営効率化に適した低価格の「サイクルコインシステム」を開発致しました。

この4月1日から業界では当社だけの2仕様のシステムを同時市場投入し今後の業績拡大を図ります。グループ会社の(株)マーステクノサイエンス及び(株)マースラインテックは社名も新たに、主に販売のパートナーとして、特に前者は新規事業の開拓を使命として船出を致しました。これで当社を含めたグループ6社体制が整い、夫々の事

業分野を堅実に経営して、当社第28期の連結決算では、はじめてグループ会社の全てが増収増益を達成しています。

今年はパチンコ業界の規則改正が見込まれており、8月には幕張メッセにおいてパチンコ・パチスロ

産業フェアの開催が予定されるなど業界の活性化が多いに期待されています。当社は、平成16年9月に創立30周年を迎えますところから、節目の年に相応しい事業規模の拡大を図るべく、経営基盤の整備等に取り組んでおり、

同時に新たな事業軸としての新規事業の確立を進めてまいります。東証第一部への指定替えをマースグループの新たな飛躍への第一歩と位置付けており、高収益企業への体質強化とROE向上など企業価値の更なる創造にグループ一丸となって邁進してまいります。今後も倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 東証一部への指定替えを機に、 新たな飛躍に向け グループ経営を強化

代表取締役社長  
古宮重雄



## ICカードのプリペイドシステムへの展開が、新たな事業分野への進出を後押し

通勤定期、電子カルテ、IDカード、商品タグなどへの採用増加により、非接触ICカードは、磁気カードに替わってカード社会の主役になりつつあります。多機能性、高いセキュリティ性、随時書き換え性などICカードの持つ特長は、商品開発の新たな可能性を広げています。マースグループは、ICカードの製造コストの低減を実現すると共にシステム構築、メカトロニクスなど総合的技術力の増強により、パチンコ関連システムへのICカードの採用による付加価値性の高い商品の開発を実現しました。これを機に様々な分野でのICカードの利用を推進します。

### サイクルICカードシステム

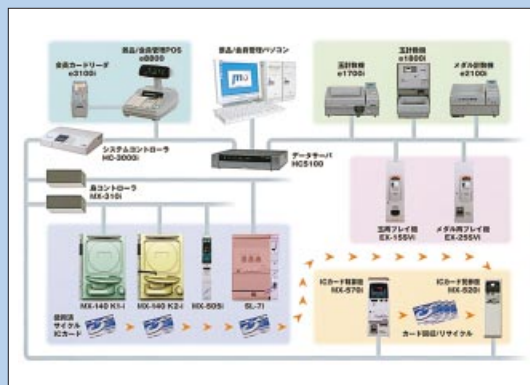
1999年からプリペイドカード市場に投入した「サイクルカードシステム」は、一枚のカードでCR機とスロットマシンの両方に対応できる画期的なシステムで、パチンコ・パチスロ併設店舗では業界の標準仕様となりつつあります。大型店舗に最適なシステムとして順調に採用店舗を伸ばしていますが、その中で経営合理化や顧客サービスに資するカスタム仕様への顧客ニーズが多いことに着目、システムの拡張性が高い非接触ICカード仕様を開発、2002年2月から販売を開始しました。新製品の特長は以下の通りです。

**1** 使いやすさとランニングコストの低減  
非接触ICカードの採用により、カードや関連機器の消耗が軽減されメンテナンス性が向上、消耗品やシステムの保守コストの低減が図れます。また、カード残高が精算できるキャッシュバック機能は、遊技客の使いやすさを高めます。

### サイクルコインシステム

サイクルカードシステムは、パチンコ店の経営効率化に多大な効果をもたらしましたが、中小店舗にとって導入コストなどがネックとなっていました。新開発の「サイクルコインシステム」は、ICコインの採用による低価格で店舗運営の効率化を実現する画期的な新製品です。

- 1) ICコインの採用による新感覚のプレイスタイルを提供。
- 2) 優れた認証機能とID管理により高いセキュリティを確立。
- 3) キャッシュバック機能により、遊技客の利便性を向上。
- 4) 「ロータリービルバリ」との連動により入金機能を実現。



ネットワークシステム概念図

### 2 万全のセキュリティ

ICカードによる優れた認証機能と書き換え不可能なID管理による情報の機密保持性など、セキュリティ機能は一層高まりました。

### 3 ニーズに合わせたシステム構築

メンバーカードにプリペイド機能を一体化したICカードにより、顧客管理など営業促進活動を容易にするほか、高いシステム拡張性がユーザー企業個々の経営戦略に合わせてカスタム仕様の構築を可能にします。



サイクルICカード

### ロータリービルバリ

「ロータリービルバリ」は、4金種に対応できる超コンパクトサイズの紙幣識別機で、メカトロニクスを強化したマースグループの技術力が可能にした新製品です。その寸法仕様は自由自在な設置を可能にしており、サイクルコインシステムなどとの併用により店舗の現金管理と遊技客の利便性を飛躍的に向上させます。



サイクルコイン対応  
パチスロサンド



ロータリービルバリ





# GROUP COMPANY

## グループ企業紹介

連結子会社である(株)カード情報管理センターと(株)エムアンドティ・カードテクノロジーの合併により、当社のICカード事業の中核を担う(株)マーステクノサイエンスがスタートしました。また、(株)アサマエンジニアリングも(株)マースラインテックに社名変更しました。マースを冠することによりグループとしての一体感を醸成すると共に、新生マースグループとしてシステム設計、メカトロニクス、データ管理、ソフト開発及びシステム・機器のメンテナンスまで自社グループによる一貫体制で推進する体制が整いました。

### 株式会社マーステクノサイエンス

カードシステムの第三者管理、情報処理機器の企画及び販売、情報処理サービスの提供、ICカードの販売、RFID（非接触データキャリア）事業、及び関連ソフトの開発。

### 株式会社マースラインテック

パチンコ島補給装置の設計・製造・施工及び各種メンテナンス並びに(株)マースエンジニアリングのパチンコ店向け周辺機器・システムの販売・施工。

### 株式会社マースコーポレーション

(株)マースエンジニアリングが製造するアミューズメント施設向け電子機器のシステム販売、リース事業及び損害保険代理店業務。

### 株式会社ウインテック

電子機器及び情報機器の設計・製造・販売、並びにメカトロニクス関連の技術指導。自社開発製品は、紙幣識別機、カードリーダー、自動販売機、カードプリンタなど。

### 株式会社ホテルサンルート博多

(株)マースエンジニアリングの所有地を有効活用して福岡市の市街地に設立された「ホテルサンルート博多」の運営管理及び関連事業を行うアセットマネジメント事業。

## 営業の概況

### 営業の経過および成果

当期における我が国経済は、長引く不況により雇用環境の悪化や株価下落などが続き、個人消費の低迷と共にデフレ進行も相俟って極めて厳しい状況で推移いたしました。

パチンコ業界におきましては、長期化する不況の煽りや魅力のある遊技機が登場しないことなどから、客の減少や倒産が依然として続き、中小のホールは収益の悪化を招くなど厳しい経営環境にありました。

しかし、パチンコ機の不振が続いているものの、パチスロ機はほどほどの射幸性が維持されているためマニアックなファンに支えられ、人気も高く、設置台数も増加傾向にあります。また、厳しい状況の中でも大手ホールは効率経営により着実に収益を確保しており、勝組と負組が一層鮮明になるなど二極化現象が続いております。

このような情勢の下で当社は、引き続きプリペイドカードシステムとしてのサイクルカードシステムを積極的に販売してまいりました結果、販売計画を下回ったものの、特に大手のホールを中心に当システムが高く評価され、当期において217店舗（累計564店舗）に導入し、増収増益を達成することができました。これは、セキュリティや機能面においても他社の追従を許さない完成度の高いシステムであり、サイクルカード1枚でパチンコ機やパチスロ機にも対応できるなどの利便性から、特に大型チェーン店のホールを中心に全台カードシステムの導入が進んだことによるものであります。

以上の結果、当期の売上高は178億20百万円（前期比1.3%増）、経常利益は53

億87百万円（同6.9%増）、当期利益は24億32百万円（同8.5%増）といずれも過去最高となりました。

### 設備投資および資金調達の状況

当期において、主な設備投資は実施しておりません。

資金調達につきましても、当期において実施しておりません。

### 当社が対処すべき課題

我が国経済は、更なるデフレ進行懸念もあって依然として厳しい状況が続くものと思われまます。

こうした状況の中で、当社はユーザーのご期待に応えるため、磁気カードに代わるICカードシステムとICコインシステムを開発し、新たな可能性と機能の拡張性を追及してまいりました。ICカードシステムは主に遊技客の会員制を志向するホールに、ICコインシステムは、店内業務や管理の簡素化を求めるホール向けに開発し、それぞれホールのニーズを満たしており、新たな展開、利便性の向上といった多種多様な目的での活用が可能となります。このように、時代の趨勢から安くて良いシステムを提供できるよう、一層の原価低減に努めると共に、競争力のある製品開発に傾注しなければならないと考えております。

販売面においては、商品システム群が豊富になったことにより、営業を強化し、プリペイドカードシステムとしての市場シェア2桁台を早期に実現できるよう全社一丸となって取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りませうようお願い申し上げます。

# 連結決算概要

資産の部	当期	前期
	(平成14年3月31日現在)	(平成13年3月31日現在)
流動資産	21,234,295	16,343,355
現金及び預金	3,419,786	3,701,831
受取手形及び売掛金	9,531,276	6,572,102
有価証券	4,626,631	2,416,317
たな卸資産	3,194,132	3,349,481
繰延税金資産	364,674	275,038
その他	106,859	47,662
貸倒引当金	9,065	19,078
固定資産	18,645,466	19,155,018
有形固定資産	16,223,506	16,484,099
建物及び構築物	5,293,312	5,491,829
工具器具備品	586,016	622,320
土地	10,242,712	10,242,712
その他	101,463	127,237
無形固定資産	122,321	103,307
連結調整勘定	25,959	19,747
その他	96,362	83,559
投資その他の資産	2,299,638	2,567,612
投資有価証券	1,169,365	1,226,418
繰延税金資産	681,628	851,598
その他	611,431	668,233
貸倒引当金	162,785	178,638
資産合計	39,879,762	35,498,374

負債の部	当期	前期
	(平成14年3月31日現在)	(平成13年3月31日現在)
流動負債	10,845,673	9,480,170
支払手形及び買掛金	4,289,542	3,457,865
短期借入金	86,632	1,522,692
未払法人税等	1,805,334	1,209,721
賞与引当金	266,839	220,113
前受金	3,762,361	2,065,018
その他	634,963	1,004,759
固定負債	2,442,877	2,143,573
負債合計	13,288,551	11,623,744
少数株主持分		
少数株主持分	144,427	122,003
資本の部		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本準備金	8,371,830	8,371,830
連結剰余金	10,193,486	7,774,450
その他有価証券評価差額金	52,340	327,461
自己株式	292	292
資本合計	26,446,783	23,752,627
負債、少数株主持分及び資本合計	39,879,762	35,498,374

経常損益の部	当期	前期
	(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)	(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
営業損益の部		
売上高	21,404,851	19,774,357
売上原価	11,218,613	10,292,981
売上総利益	10,186,238	9,481,375
販売費及び一般管理費	4,948,792	4,830,738
営業利益	5,237,445	4,650,636
営業外損益の部		
営業外収益	895,117	221,520
受取利息	21,002	23,572
匿名組合収益	811,993	127,088
為替差益	1,345	3,842
その他の営業外収益	60,775	67,016
営業外費用	173,936	279,141
支払利息	154,490	273,473
その他の営業外費用	19,446	5,668
経常利益	5,958,626	4,593,015
特別損益の部		
特別利益	17,614	142,867
固定資産売却益	567	
退職給付会計基準変更時差異処理額		142,867
貸倒引当金戻入益	17,047	
特別損失	759,039	1,410,835
たな卸資産廃棄損	13,776	198,776
金利スワップ損失額		828,686
投資有価証券評価損	662,781	167,346
その他の特別損失	82,482	216,026
税金等調整前当期純利益	5,217,201	3,325,046
法人税、住民税及び事業税	2,244,226	1,774,413
法人税等調整額	119,398	288,840
少数株主利益( )	61,732	28,850
当期純利益	3,030,640	1,810,623

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 単体決算概要

連結剰余金計算書 (単位:千円)

	当期	前期
	(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)	(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
連結剰余金期首残高	7,774,450	6,566,826
子会社合併による増加	6,009	
連結剰余金減少高	617,614	603,000
連結子会社減資による剰余金減少額		10,000
連結子会社解散による減少額	4,618	
配当金	567,996	568,000
役員賞与	45,000	25,000
当期純利益	3,030,640	1,810,623
連結剰余金期末残高	10,193,486	7,774,450

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

	当期	前期
	(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)	(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,611,394	4,793,955
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	1,739,330	1,011,079
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,043,303	2,195,483
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,345	3,842
V 現金及び現金同等物の増加額	830,105	1,583,549
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,688,148	4,104,599
VII 連結子会社の連結除外による減少額	4,554	
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	6,513,699	5,688,148

単体貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科 目	第28期	第27期
	(平成14年3月31日現在)	(平成13年3月31日現在)
流動資産	15,305,896	13,936,526
固定資産	18,391,976	18,449,319
有形固定資産	15,958,299	16,123,062
無形固定資産	77,799	70,123
投資等	2,355,877	2,256,133
資産合計	33,697,873	32,385,845
流動負債	5,943,893	6,634,603
固定負債	802,447	898,287
負債合計	6,746,340	7,532,891
資本金	7,934,100	7,934,100
資本準備金	8,371,830	8,371,830
利益準備金	372,109	334,029
剰余金	10,326,661	8,540,455
(うち当期利益)	(2,432,281)	(2,242,514)
評価差額金	52,875	327,461
自己株式	292	
資本合計	26,951,532	24,852,954
負債・資本合計	33,697,873	32,385,845

単体損益計算書(要旨) (単位:千円)

科 目	第28期	第27期
	(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)	(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
売上高	17,820,567	17,584,582
売上原価	8,990,118	8,421,690
売上総利益	8,830,449	9,162,891
販売費及び一般管理費	4,203,960	4,076,948
営業利益	4,626,488	5,085,943
営業外収益	928,085	223,822
営業外費用	166,786	269,713
経常利益	5,387,787	5,040,052
特別利益	16,950	142,867
特別損失	1,109,236	1,260,685
税引前当期利益	4,295,501	3,922,234
法人税・住民税及び事業税	1,926,805	1,665,872
法人税等調整額	63,585	13,847
当期利益	2,432,281	2,242,514
前期繰越利益	3,521,578	1,947,861
中間配当額	227,198	227,200
中間配当に伴う利益準備金積立額		22,720
当期末処分利益	5,726,661	3,940,455

利益処分 (単位:千円)

	第28期	第27期
当期末処分利益	5,726,661	3,940,455
これを次のとおり処分いたします。		
利益準備金		38,079
利益配当金	340,797	340,797
(1株につき 30円)		
役員賞与金	40,000	40,000
(うち監査役賞与金)	(2,000)	(2,000)
次期繰越利益	5,345,863	3,521,578

## 株式の状況

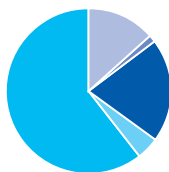
(平成14年3月31日現在)

発行株式数および株主数	
会社が発行する株式の総数	3,381万株
発行済株式の総数	1,136万株
期末株主数	8,472名
大株主の状況	

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
(有)イー・エムプランニング	2,125	18.71
松波廣和	702	6.19
松波香代子	514	4.52
松波明宏	500	4.40
(株)東京都民銀行	300	2.64
三菱信託銀行(株)(信託口)	273	2.41
古宮重雄	245	2.16
五味輝雄	225	1.98
永井美香	216	1.90
(株)あさひ銀行	204	1.80

### 所有者別分布状況

金融機関	13.4%
証券会社	1.4%
事業法人	20.3%
外国人	4.4%
個人・その他	60.5%



### 所有株数別分布状況

1,000株未満	14.4%
1,000株以上	14.5%
10,000株以上	15.3%
100,000株以上	37.1%
1,000,000株以上	18.7%

## 会社の概況

(平成14年3月31日現在)

商号 株式会社マースエンジニアリング  
(Mars Engineering Corporation)

本社所在地 東京都新宿区新宿一丁目10番7号

設立年月日 昭和49年9月13日

- 会社の目的
1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売
  2. ソフトウェアの開発
  3. 電子機器の開発、企画並びに販売
  4. 電子機器の市場調査
  5. ホテルの経営
  6. 不動産の賃貸業
  7. 損害保険代理店業
  8. 前各号に付帯する一切の業務

資本金 7,934,100,000円

従業員数 379名(男339名、女40名)

主要取引先 <販売先>

- オリックス(株)
- 三井住友リース(株)
- エヌ・ティ・ティ・リース(株)
- セントラルリース(株)
- 三井リース事業(株)
- <仕入先>
- (株)ウインテック
- (株)ムサシ電工
- 日本信号(株)
- (株)オーシーシー
- 東洋通信機(株)

- 取引銀行
- (株)東京都民銀行 東新宿支店
  - (株)あさひ銀行 新宿支店
  - (株)UFJ銀行 新宿支店
  - 住友信託銀行(株) 新宿中央支店

## 役員 (平成14年6月27日現在)

代表取締役会長	松波 廣和	取締役	大矢 俊寿
代表取締役社長	古宮 重雄	取締役	村上 浩
取締役副社長	五味 輝雄	常勤監査役	片岡 義之
常務取締役	川上 善清	監査役	竹俣 耕一
常務取締役	松波 明宏	監査役	池田 勉
取締役	大貫 行雄		

## 執行役員 (平成14年4月1日現在)

古越 登	営業統括部東日本営業部長兼東京支店長	渡邊 廣美	製販統括本部製造部長
杉本 孝司	営業統括部東海営業部長兼静岡営業所長	佐藤 忠義	管理統括部総務部長兼特許管理室長
秋山 裕和	営業統括部西日本営業部長兼大阪支店長	佐藤 敏昭	管理統括部経理部長
井出 平三郎	製販統括本部技術開発部長		

## 事業所一覧 (平成14年6月27日現在)

本社 東京都新宿区新宿1-10-7	名古屋営業所 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル	甲府駐在所 甲府市真川1-7-12 エバークレイス真川
東京支店 東京都新宿区新宿1-11-16 サンサーラ第五御苑ビル	京都営業所 京都市中京区烏丸通御池下ル 虎屋町577-2 太陽生命御池ビル	金沢駐在所 金沢市北安江1-12-31
大阪支店 大阪市北区堂島2-4-27 新藤田ビル	広島営業所 広島市中区大手町2-8-5 野村不動産大手町ビル	岡山駐在所 岡山市野田2-4-1 シティセンタービル
福岡支店 福岡市博多区博多駅東3-11-28 博多サンシティビルⅡ	鹿児島営業所 鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル	松山駐在所 松山市空港通1-3-16 土居田OKビル
札幌営業所 札幌市白石区南郷通 8丁目北2-25 第3タチカビル	北見駐在所 北見市高栄東町2-4-14	熊本駐在所 熊本市水前寺1-20-22 水前寺センタービル
仙台営業所 仙台市青葉区大町1-3-7 横山ビル	盛岡駐在所 盛岡市津志田23-9-8	沖縄駐在所 浦添市字西原590-8
大宮営業所 さいたま市吉敷町2-4-4 吉敷町スクエアビル	郡山駐在所 郡山市桑野2-2-16 藤尾ビル	裾野技術センター 裾野市伊豆島818-8
千葉営業所 千葉市稲毛区小仲台2-3-12 こみなと稲毛ビル	高崎駐在所 高崎市鞆町20-1 高崎鞆町ビル	東富士工場 御殿場市柴怒田字西沢961-45
横浜営業所 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPウエストタワー	水戸駐在所 水戸市大工町1-3-2 かわかみビル	テクノ流通センター 御殿場市東田中2-22-25
静岡営業所 御殿場市東田中2-22-25	新潟駐在所 新潟市出来島1-2-12 DNビル	府中テクニカルセンター 府中市栄町3-1-1